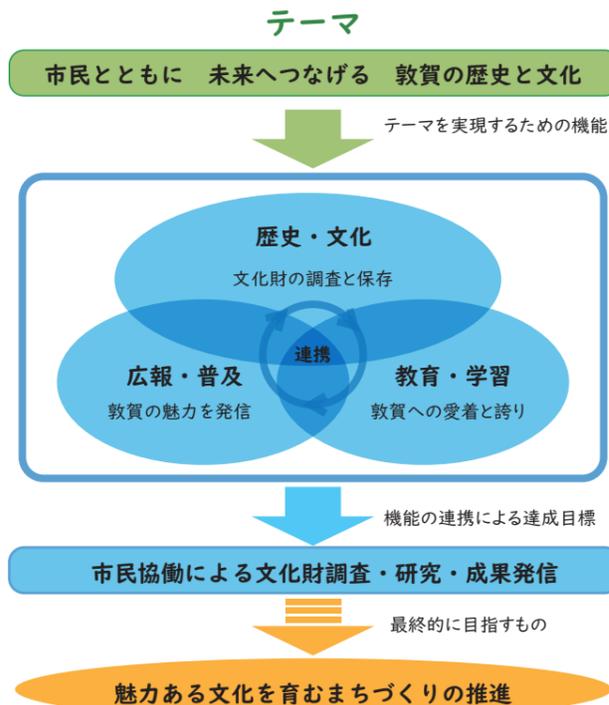


# 文化財センター基本構想・基本計画(概略版)

## 1. 基本構想

テーマに基づき、「歴史・文化」「教育・学習」「広報・普及」の3つの機能を連携する拠点施設として整備します。そして市民協働で文化財の調査保存から広報普及、発信までを行うことを目的とし、市民それぞれが敦賀の魅力発信できるような、魅力ある文化を育むまちを目指します。

### 文化財センターの基本方針



### 文化財センターの整備位置

文化財センターは、古墳などの史跡が豊富な地域にある、旧咸新小学校敷地に整備します。



東郷・中郷地区の遺跡

△	弥生	吉河遺跡 (集落跡)
△	古墳	大町田遺跡 (集落跡)
△	古墳	中遺跡 (集落跡)
△	古墳	舞崎前山古墳 (古墳)
△	平安	深山寺経塚群 (経塚)
△	南北朝	大椋神社経塚 (経塚)
△	戦国	大蔵北遺跡 (墳墓群)

### 文化財センター建設予定地

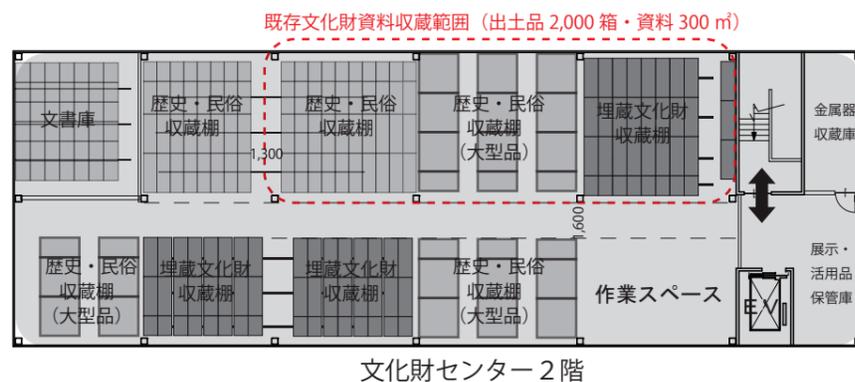
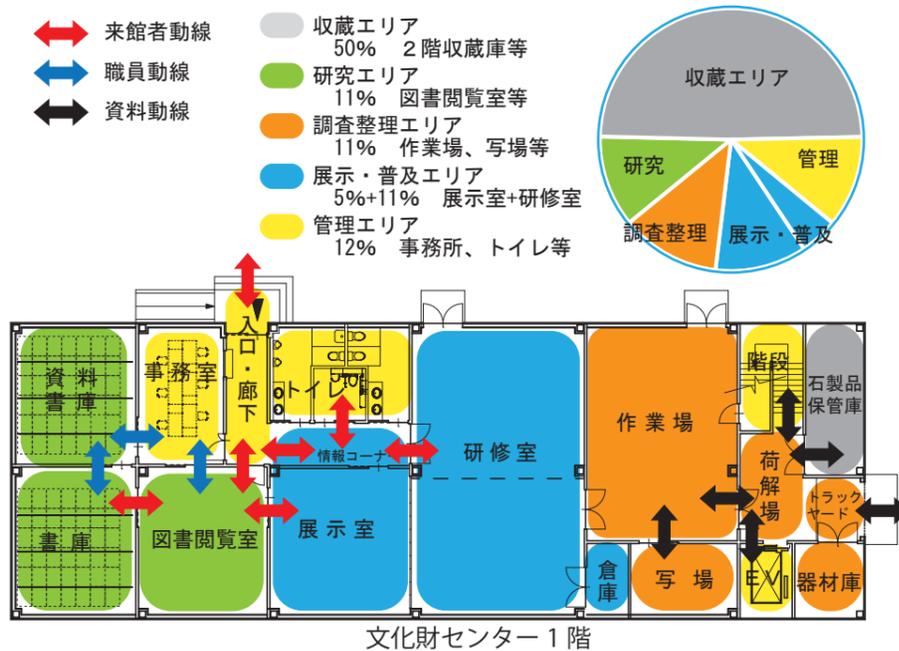
東郷・中郷地区周辺の文化財・文化施設

③	国史跡	中郷古墳群
⑧	国名勝	おくのほそ道の風景地 けいの明神 (氣比神宮境内)
②	県史跡	立洞古墳 (2号墳)
⑥	中池見人と自然のふれあいの里	
⑦	原子力の科学館あっとほうむ	

## 2. 文化財センターの施設

施設運営の柱である「歴史・文化」「教育・学習」「広報・普及」の各機能が連携し、文化財の調査保存と公開活用の一体化を図ることができる施設整備を行います。

「収蔵エリア」「研究エリア」「調査整理エリア」「展示・普及エリア」「管理エリア」の5つのエリアを設定し、収蔵エリアに既存資料数の2倍以上の収蔵能力を、また研修室には小中学生1学年分の100名程度の収容能力を持たせます。



## 4. 文化財センターの管理運営

◎文化財センターの管理運営は、敦賀市の直営とし学芸員を配置します。

◎調査成果は広く発信できる博物館も活用し、関係機関と連携します。

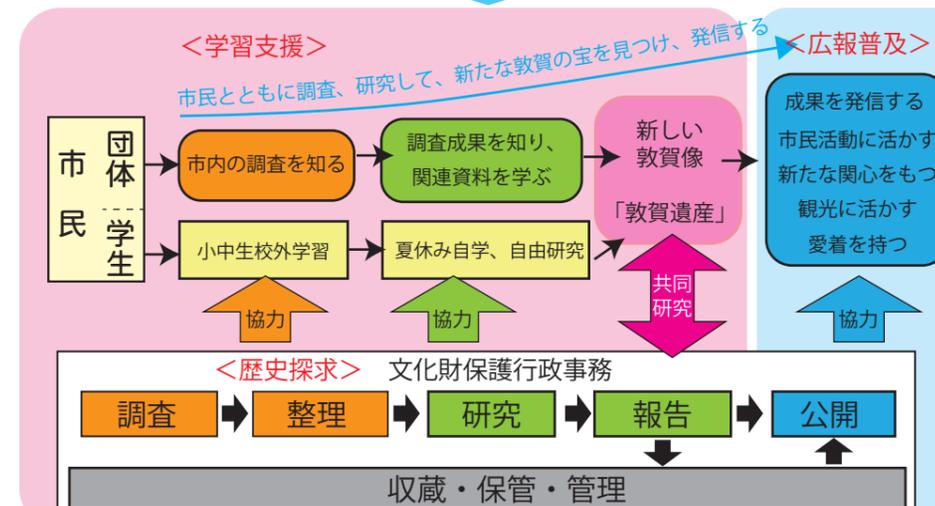
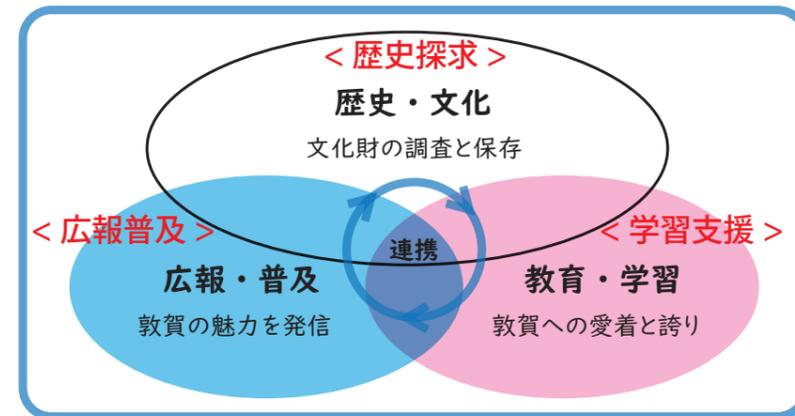
◎センターは基本的には平日開館ですが、講座・展示等の企画がある場合や、夏休み期間等には、休日での開館を実施します。



## 3. 文化財センターの事業

センターで実施する事業は、基本方針の3つの柱を具体化した「歴史探究」「学習支援」「広報普及」の3つの主要事業で構成します。

- ① 歴史探究事業 (文化財保護行政事務)
  - 【調査・研究活動】【成果公開活動】…発掘・出土品整理・報告書作成・速報展示など
- ② 学習支援事業
  - 【学校教育支援活動】【生涯学習支援活動】【体験学習活動】
  - …校外学習受入・自由研究支援・市民団体支援・体験学習企画・学習企画支援など
- ③ 広報普及事業
  - 【情報発信活動】【発信支援活動】
  - …企画展示・博物館への展示協力・市民発信支援・センター刊行物への掲載など



## 5. 文化財センター整備スケジュール

令和9年度での建物竣工、収蔵品整理ののち、10年度中の開館を予定します。

令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)												令和8年度 (2026年度)												令和9年度 (2027年度)												令和10年度 (2028年度)						
12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7					
契約	実施設計																								入札 9月議会承認												建設工事						
																									完成												備品設置 資料整理 文化財搬入						
																																					公開開始						